

院長 コラム

一緒に考えましょう

健康のこと
医療のこと

45

なくてはならない病院に



初めまして。4月より津島市民病院院長に就任しました神谷里明です。前松崎院長より引き継いでこのコラムを担当します。よろしくお願いたします。

病院は誰のためにあるのか？言うまでも無く病氣や怪我を持った患者さんのためにあります。患者さんの病氣や怪我を正しく診断し、治療可能な場合は適正な医療を提供し、治療困難な場合はどうやって苦痛を軽減できるのか、資格を持った専門家の集団である病院職員がチームとして医療を提供する場だと考えます。

チームは多くの職種より成り立っています。病気の診断・治療を担う医師、歯科医師。患者さんと一番多く関わり、療養上の世話を行う看護師。内服薬、点滴など薬を扱う薬剤師。血液検査等の検体検査や、心電図などの生理機能検査を行う臨床検査技師。レントゲン、CT、MRI等を行う放射線技師。歩行や日常生活動作、嚥下機能などのリハ

ビリを行う理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士。医療機器の点検整備を行う臨床工学技士。毎日の食事管理や栄養指導を行う栄養管理士。歯科口腔外科で診療補助を行う歯科衛生士。社会福祉の立場から患者家族を援助する医療ソーシャルワーカー。医師、看護師の専門能力を有効に活用するための医師事務作業補助者、看護補助者。医事会計等を担当する医療事務。診療録などの医療情報を扱う診療情報管理士。病院の運営を支える病院事務職員。多くの職種が集まり、一体となって患者さんや家族の方が安心して療養生活が送れ、地域や家庭に帰って行けるように24時間体制で働いています。

病院は病院の職員だけで成り立っているわけではありません。病院ボランティアの方々毎日、玄関でお手伝いをしたり、患者さんの搬送などを無償で行ってくれています。救急医療においては救急隊と密に情報交換をしています。病院だけで治療は終了するわけではなく地域の医師会や、病院、介護施設とも共同じ、継続性を保ちます。

病院理念である「地域とつながり安心・信頼の医療を提供します」に基づき、地域にとって必要で、なくてはならない病院を目指し、頑張っていきたいと思っています。